

**第1回 福知山鉄道館企画会議
議事概要**

1 日 時 令和4年11月30日（水）午後6時00分～午後7時40分

2 場 所 市民交流プラザふくちやま 3階 会議室3-2

3 参加者

委 員	柳井津 佑健 （福知山商工会議所） 仁木 弥生 （ゆらのガーデン出店者協議会） 福井 佳代 （福知山観光協会） 奥田 友昭 （サードプレイスツーリズム協議会） 赤井 貴恵 （子育て支援NPO法人おひさまと風の子サロン） 松山 美昭 （西日本鉄道OB会／福知山SL保存会） 井尻 貴幸 （福知山市小学校教育研究会） 西山 周三 （福知山市産業支援センタードッコイセ！Biz） 岨尾 はづき （公募委員） 宮田 毅 （公募委員） 友塚 絢人 （公募委員）
事務局 (福知山市)	山中 忠雄 （産業政策部） 森田 成章 （産業政策部産業観光課） 河野 恒州望 （ " ） 伊庭 弥広 （ " ）

4 会議概要

次 第	内 容
事務局挨拶 趣旨説明	山中産業政策部長
自己紹介	各委員及び事務局より自己紹介。
委員長互選	互選により柳井津佑健委員を委員長に選出。 また、委員長より赤井貴恵委員を副委員長に選出。
鉄道館の建設に係る経過・現状・今後について	事務局より、【資料】に基づき説明。
意見交換	新たな鉄道館の企画展やイベント等について具体的なアイデアや事例等も踏まえながら、企画にあたっての考え方・観点等について意見交換を行った。 今回の会議で出た意見について事務局で整理を行い、次回以降の会議にて、

資料提示の上、実現性等を踏まえ意見交換を行う。

(主な意見)

- 京都鉄道博物館もある中で、大人・マニアだけをターゲットにするのではなく、子ども・親子で何度も来ていただける施設にしないといけない。
- 市内や周辺市町の親は常に子どもを連れて行ける場所を探している。
- 全国的に知名度のあるゲームに福知山が鉄道のまちとして載ればPRにはなる。
- 愛される場所には、愛される人が必要。以前、運営に携わられていた鉄道OBの方のように、子どもに好かれ、愛されるおじいさんのような人に、新しい鉄道館にいて欲しい。
- 施設単体で考えた場合、利益を上げるのは難しい。しかしながら公共施設なので「利益」というより、観光や商業の振興や子育てなどにおいて周辺地域にも効果がある有意義な施設とすることの方が重要。
- 教育の観点では、主体的で対話的な学びを得られることが重要。「また知りたい・もっと知りたい」という、更に深まっていく施設にできればいい。
- (交流企画展示では) アマチュアの方による写真展には丁度いいスペース。SNSでの投稿を受け付けて、週替わりで変えていくのもいい。
- Nゲージジオラマ模型もあるが、企画展示などでも大学生や高校生によるNゲージジオラマ模型の展示などすれば、子どもはかぶりついて見る。
- インタラクティブウォールなどのスペースを活用し、映像を上映しながら、鉄道OBの方の話を聞けるなどの学べる機会も大人やマニア向けにはいい。
- 鉄道OBの方による対談イベントなどを、開館終了後の夜間に実施する。
- 入場券は硬券の方がいい。グッズとしても販売できる。
- まち全体への周遊を考えた場合、ミニSLで2号館まで繋がるといい。新町商店街であればアーケードもあり天候の心配もない。
- 他の施設の話をついた際に、カプセルトイとトレインカーが収益の中核とついた。親も100円程度なら仕方ないとついつい買ってしまふ。子ども目線で、小銭程度で楽しめる要素も必要。
- 駅弁フェアのようなイベントがあるといい。季節ごとに栗や筍などの駅弁もできる。
- 新たな鉄道館周辺にも飲食店はあるが、面をみたときに集積するのも魅力になる。
- 現在、鉄道に関する土産物品はない。以前は、タオルなどを販売されていた。行った記念になるものを欲しくなるものなので、そうした土産物品が必要。
- 大学生や高校生が、訪れる子どもたちの学びを後押しするような関わり方

	<p>もできる。</p> <p>■美術館で子どもの絵が展示されるとなれば、往復1時間かけてでも親は行く。</p> <p>■年間パスも検討が必要。福知山動物園が安く、近隣の子育て支援施設も無料で利用できるなので、入館料が大人500円だと足を踏む。</p>
6 事務連絡	第2回福知山鉄道館企画会議日程を、令和5年1月25日(水)午後6時～午後7時30分に決定。